

須崎中学校 第3学年社会科(歴史的分野)学習指導案

平成26年5月21日(水)第6校時

3年2組 32名

指導者

1 単元名「現代の日本と世界」(教育出版 中学社会 歴史 未来をひらく 第8章)

2 単元について

(1) 単元観

本単元では、第二次世界大戦後から冷戦の終結ごろまでの歴史を扱い、我が国の現代の特色を、世界の動きとの関連に着目して学習させる。この時期の我が国は、第二次世界大戦後の混乱の中から民主的な文化国家を目指して再建と独立の道を歩み、冷戦など世界の動きとのかかわりの中で、経済や科学技術の急速な発展を成し遂げた。

本単元は3つの節で構成されている。第1節「日本の民主化と冷戦」では、第二次世界大戦後の混乱と連合軍による占領という事態の中で、国民が苦難を乗り越えて、新しい日本の建設に努力したことを、具体的事実をもとにして実感的にとらえさせる。また、国家の再建と民主化を目指して様々な改革が次々に進められ、戦後の日本の骨格が形成されたことや、我が国が民主的で平和的な国家への道を歩んだことを理解させる。

第2節「世界の多極化と日本」では、1960年～1970年代の日本と世界を取り巻く状況の中で、我が国における産業・経済や科学技術の著しい発展とそれに伴う生活の向上や、それらを背景とする世界有数の経済大国への急速な成長、及び「石油危機」が経済に及ぼした影響などに気づかせる。また、国際社会とのかかわりにおいて、沖縄返還、日中国交正常化などの節目となる歴史的事象を、今の日本の政治的課題とも関連させて取り扱うことにより理解を深める。

第3節「冷戦の終結とこれからの日本」では、世界規模での米ソ両陣営の対立が終わったことに気づかせる。また、現在の自分たちの生活との深いつながりや、現代の日本と世界の動きに関心を持たせるように新聞等の資料を活用するなど工夫し、国際協調の平和外交の推進、開発途上国への援助などに着目させて「国際社会において我が国の役割が大きくなってきたこと」を理解させる。そして、公民的分野の学習に向けた課題意識を持たせることをねらいとする。

キャリア教育視点では、本単元は「夢や志を持ち、自分の未来を切り開いていく子どもを育てる」という須崎市のキャリア教育の目標と学習内容に関連がある。日本が戦後の混乱の中から、夢をあきらめることなく不断の努力と勤勉さで世界有数の経済大国に成長したこと、そして日本国憲法の三大柱のもとに平和国家としての歩み続ける姿を学ぶことを通して、生徒一人一人が将来と真摯に向き合い、夢をかなえるために行動することの大切さに気づかせたい。

(2) 生徒観

県版学力テストや実力テストの結果によると本校3年生は、評価規準の「社会的な思考・判断・表現」が低く無答率も高い。特に資料読み取りに関しては、既習事項の「知識」や直感に頼った思考・判断の範囲に留まり、客観的なデータ(何を表したのか・どう変化しているか＝明確な根拠)を活用し、事象の原因は何か・これからどうなっていくと予想されるか等といった発言や自分の言葉でまとめるといった表現力が身につけていない。

この課題を克服するために、授業アンケートの結果から、小グループによる話し合い活動を希望する生徒が多いことを踏まえ、昨年度末より中心発問を柱に「資料を読み取り、考えを深める学び合い活動」をほぼ毎授業取り入れてきた。ホワイトボードを用いて書くことにより意見を練り合うようにしているが、発表時の語尾が「～と思います。」が大半で、「～と考えられます。」といった明確な根拠に基づく発言はまだまだ少ない。しかし、考えることから逃げたが

る傾向は少しずつではあるが減っている。

また、自己評価および思考・表現プリントと題して、生徒自身学習のねらいを達成することができたかどうかを振り返ったり、教科書に記載されている課題に取り組んだりしている。提示された用語を用いて書くのに苦勞する生徒も多く、文章として成り立っていない場合も見受けられるが、無答は以前と比較して減ってきている。

(3) 指導観

本年度の研究テーマである「キャリア教育視点に立った授業づくり」の一環として、「学習意欲の高まり」と「基礎基本の定着」の2つを柱に授業を進めている。

「学習意欲を高める」ためには、社会科の場合資料の精選と発問内容が鍵を握る。本単元では、「戦後」を語る多くの写真を知覚化させることにより、まず「考える視点」を与える。そして、比較したり、順列を決めたりさせることを通して資料を活用する能力の育成を目指す。本単元を貫く発問は「戦後の日本は何を目指したのか」、「日本は何を成し遂げたのか」、「そして新たな課題となったことは何か」、「この歴史から私たちが学んだことは何か」の4つに絞る。班を用いた話し合い活動では、根拠を明示させ、相手意識を持たせ、個人で考えたことを互いに共有したり、吟味したりすることを通して合意を形成する能力を育成する。支援の必要な生徒に関しては、資料のどこを読み取るかなど細かい指導を入れ、少しでも自分の考えを持てるようにさせる。

次に、「基礎基本の定着」ために、授業の導入時に単元全体の重要語句をペアで確認させ、夕自習の時間を利用して毎週小テストを実施している。また、予習としては教科書の読みと用語の確認、復習としてはテストで間違った箇所の訂正と感想を含めたノート整理を家庭学習の一環として位置付けている。

3 単元の目標

(1) 社会科の指導目標

<学習指導要領での取り扱い>

ア 冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを通して、第二次世界大戦後の諸改革の特色を考えさせ、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。

イ 高度経済成長、国際社会とのかわり、冷戦の終結などを通して、我が国の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。

(2) キャリア教育視点での目標

① 友だちなど他者の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとする。

② 相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとする。

【人間関係形成・社会形成】

③ 分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を収集したり、だれかに質問したりする。

【課題対応】

④ 自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりする。

【キャリアプランニング】

4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<p>○新しい日本の建設，経済や科学技術の急速な発展と国民生活の向上，国際社会における我が国の役割の増大など，現代の歴史的事象に対する関心を高め，意欲的に追究して現代の特色を捉えようとし，国際協調の大切さを考えようとする。</p>	<p>○冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰や第二次世界大戦後の諸改革の特色について多面的・多角的に考察し，公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>○高度経済成長，国際社会との関わり，冷戦の終結などについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>○冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>○高度経済成長，国際社会との関わり，冷戦の終結などに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>○世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解し，その知識を身につけている。</p> <p>○我が国の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上し，国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解し，その知識を身につけている。</p>

5 指導と評価の計画（全12時間）

時 数	○学習のねらい ★学習内容	評 価					
		関	思	技	知	評 価 規 準	評価方法
1 本 時	<p>○戦後の社会・経済の混乱の有様や国民の生活苦の実態をとらえ，国民が苦難を乗り越えて新しい日本の建設に努力したことに気づく。</p> <p>○ポツダム宣言の二つの柱の、日本の民主化が具体的にどんな内容をもって行われたか理解する。</p> <p>★日本占領と国民生活</p>			◎	○	<p>◎写真資料を活用し，戦後間もない日本の社会・経済の様子について，背景や人々の表情などを通して，具体的に読み取ることができる。</p> <p>○日本の降伏のあと，アメリカ軍を中心とする連合軍が日本を占領し，ポツダム宣言に基づいた日本の民主化を進めたことを理解している。</p>	<p>・発言 ・行動観察 ・ワークシート</p> <p>・単元テスト</p>
2	<p>○日本国憲法の制定過程や三原則についてとらえ，憲法制定により民主主義国家としての根幹が定まったことに気づく。</p> <p>★日本国憲法の公布と諸改革</p>		◎			<p>◎日本国憲法の制定により，日本は民主主義国家としての根幹が定まったことや，教育・経済の改革について，戦前の制度との違いからその特色を説明できる。</p>	<p>・発言 ・ワークシート</p>

3	<p>○大戦の反省から新たに国際連合が発足した一方で、米ソの対立から東西陣営の冷戦が生じたことを理解し、ドイツや朝鮮が二つに分断されたことに気づく。</p> <p>★米ソの対立とアジア・アフリカ</p>	◎			<p>◎ドイツ・朝鮮が二つに分断されたことや、アジア・アフリカでの第三世界の形成について、アメリカ・ソ連を中心とする東西両陣営の冷戦と関連づけて説明できる。</p>	<p>・発言 ・ワークシート</p>
4	<p>○冷戦の緊張が高まる中、日本に対するGHQの占領政策が大きく転換したことを理解し、その理由について考える。</p> <p>★朝鮮戦争と日本</p>	◎	○		<p>◎日本に対するGHQの占領政策が大きく転換した理由について、冷戦の緊張の高まりと関連づけて考え、説明することができる。</p> <p>○朝鮮戦争をめぐる日本とアメリカの関係について、地図や写真などを活用し、具体的に読み取ることができる。</p>	<p>・発言 ・ワークシート</p>
5	<p>○日本は平和条約を結んで独立を回復し、国連に加盟して国際社会に復帰したことを理解するとともに、安保条約によりアメリカの強い影響下に置かれたことに気づく。</p> <p>★国際社会への復帰と経済復興</p>	◎			<p>◎日本が独立を回復し、国際社会に復帰した一方で、ソ連との北方領土問題や中国との国交、アメリカによる沖縄の統治など、様々な課題が残されたことを指摘できる。</p>	<p>・ワークシート ・発言</p>
6	<p>○ベトナム戦争の経緯や日本との関わりについてとらえ、ベトナム反戦運動の世界的な高まりに気づく。</p> <p>○アラブ諸国の石油戦略が先進国に大きな影響を与えたことを理解する。</p> <p>★1960～70年代の世界</p>	◎	○		<p>◎ベトナム反戦運動が高まった理由を、その当時の世界の動きと関連づけて推測できる。</p> <p>○アラブ諸国の石油戦略が先進国に大きな影響を与えたことをその背景とともに理解している。</p>	<p>・発言 ・単元テスト</p>

7	<p>○日米安保条約改定に内容や経過をとらえる。</p> <p>○日本と韓国・中国との国交正常化や沖縄の本土復帰の経緯についてとらえ、今日まで残された課題があることに気づく。</p> <p>★安保改定と国交正常化</p>		○	◎	<p>○安保条約改定にあたり国民の間に大規模な反対運動が起こった理由を、人々の願いや政府の対応を指摘しながら説明できる。</p> <p>◎北朝鮮との未国交や沖縄の基地問題など今日まで残された課題があることを理解している。</p>	<p>・ワークシート</p> <p>・発言</p>
8	<p>○1960年代の高度経済成長により、国民生活は豊かになった一方で、過疎・過密化などの社会問題や深刻な公害問題が生じたことを理解し、その原因について考える。</p> <p>★豊かな国民生活と公害</p>		◎		<p>◎高度経済成長期に、過疎・過密化などの社会問題や深刻な公害問題が生じた原因について考え、人口の大幅な移動や、生産・利益優先の考え方があったことを指摘できる。</p>	<p>・ワークシート</p> <p>・発言</p>
9	<p>○東西ドイツの統一やソ連の崩壊により冷戦が終結したことを理解する。</p> <p>★冷戦終結後の世界</p>			◎	<p>◎東西ドイツの統一やソ連の崩壊により冷戦が終結したことを理解している。</p>	<p>・単元テスト</p> <p>・発言</p>
10	<p>○市場経済の導入による中国の経済発展、韓国の急速な経済成長と民主化、南北首脳会議の実現など、東アジアの動きについて理解する。</p> <p>★東アジアのなかの日本</p>			◎	<p>◎冷戦終結後の東アジアの動きについて理解している。</p>	<p>・単元テスト</p> <p>・発言</p>
11	<p>○バブル経済の経緯と、その崩壊で日本経済が長い不況に入ったことを理解するとともに、政権交代が相次ぎ、新たな政治が模索されていることに気づく。</p> <p>★バブル経済と55年体制の崩壊</p>			◎	<p>◎バブル経済の崩壊により日本経済が長い不況に入ったことや、相次ぐ政権交代で新たな政治のあり方が模索されていることを、社会問題と関わらせて理解している。</p>	<p>・単元テスト</p> <p>・発言</p>
12	<p>○グローバル化・情報化・少子高齢化の動きをとらえ、自分たちの生活に様々な影響を及ぼしていることに気づき、公民的分野の学習への課題意識を持つ。</p> <p>○単元全体の学習を通して、自分たちの将来について課題意識を持つ。</p> <p>★世界の中の市民の一人として</p>	◎			<p>◎グローバル化・情報化・少子高齢化の動きが、自分たちの生活に及ぼしている影響について具体例をあげながら調べ、公民的分野の学習に関心を高めている。</p>	<p>・行動観察</p> <p>・ワークシート</p> <p>・発言</p>

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ① 戦後の社会・経済の混乱の有様や国民の生活苦の実態を、当時の写真を読み取ることを通してとらえ、国民が苦難を乗り越えて新しい日本の建設に努力したことに気づく。
- ② ポツダム宣言の内容に基づき、連合国の日本占領や民主化政策が進められたことを理解する。
- ③ 友だちなど他者の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとする。
- ④ 相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとする。

【③・④人間関係形成・社会形成】

(2) 本時の評価基準（技能/知識・理解）

	「概ね満足できる」と判断できる状況	「十分満足できる」と判断できる状況	「努力を要する」と判断される生徒への対応・手立て
技能	写真資料を活用し、戦後間もない日本の社会・経済の様子について、背景や人々の表情などを通して、具体的に読み取ることができる。	写真資料を活用し、戦後間もない日本の社会・経済の様子について、既習事項と比較したり、関連づけたりしながら背景や人々の表情などを通して、具体的に読み取ることができる。	写真資料のどの部分に注目して見ればいいのかを指示する。
知識・理解	日本の降伏のあと、アメリカ軍を中心とする連合国軍が日本を占領し、ポツダム宣言に基づいた日本の民主化を進めたことを理解している。	日本の降伏のあと、アメリカ軍を中心とする連合国軍が日本を占領し、ポツダム宣言に基づいた日本の民主化を進めたことを、戦前と比較することで、より深く理解している。	教科書やノートのどこを見ればいいのか、指示しながら机間指導する。

(3) 準備物

電子黒板・ホワイトボード・マーカー・写真資料

(4) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点 ○教科の留意事項 ☆キャリア教育視点での留意事項	評価規準 ◇評価方法
導入 10分	<p>1. 本単元で学習する重要語句を個人で書いた後、ペアで問題を出し合う。</p> <p>2. 戦時中に奉安殿へ「捧げ銃」をしている写真と、昭和天皇とマッカーサー元帥が並んで写っている写真を比較して読み取る。</p>	<p>・本時より新しい単元の学習に入ることを伝える。</p> <p>○重要語句の定着を図る。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>① 戦時中、天皇は神格化されていました。この写真に写っているのは誰ですか。また、写真より気づいたこと・分かったことを服装や姿勢を根拠にして発表しなさい。</p> </div> <p>○この写真により、日本が敗戦国になったことを実感させる。</p>	<p>◇行動観察</p> <p>◇発言</p> <p>◇行動観察</p>

<p>展開 35分</p>	<p>3. 本時の学習テーマを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 戦後間もない日本の社会の様子を考えよう。 </div>	<p>○学習テーマを黒板に掲示し、本時の学習課題を確認させる。</p>	
	<p>4. ペアでポツダム宣言の内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の領土の決定 ・連合国軍による占領 ・戦争犯罪人への処罰 ・基本的人権の尊重の確立 など </div> <p>5. ノートに板書を写し、占領政策の柱と具体的な民主化政策を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の非軍事化 ・民主主義の実現 <p>⇒軍隊の解散、戦争の責任者を処罰、治安維持法の廃止、男女普通選挙、労働組合・労働基準法の制定、部落解放運動・女性解放運動の活性化</p> </div> <p>6. 国民が苦難を乗り越えて新しい日本の建設に努力したことを、現代の日本の繁栄を表す写真と占領時の写真を比較して読み取る。 (個人⇒班⇒発表)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・国会議事堂前の農作業 ・買い出し列車 ・戦災孤児となった子ども </div>	<p>○教科書 p 222 の資料やノート、用語集などで確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な生徒に関しては、教科書やノートのどこを見ればいいのか、指示しながら机間指導する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ② 黒板の空欄になっているところにあてはまる語句を教科書から選んで発表しなさい。 </div> <p>○教科書 p 230 本文よりキーワードを探し、黒板の空欄部分を発表しノートに書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な生徒に関しては、教科書やノートのどこを見ればいいのか、指示しながら机間指導する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ③ 宿題プリントを参考にして、占領から復興、そして現在に至る日本発展の原動力やパワーを感じる写真を1枚選びなさい。まず個人で、その後班で話し合っ て1枚を決めます。決まったら、どこにそのパワーを感じたのか、写真から読み取れることを班で話し合いボードに書きなさい。 </div> <p>○ホワイトボードに書いた後、いくつかの班に発表させる。意見をつなぎながら深めさせる。</p> <p>☆班会を用いて自分の意見を相手にきちんと伝えるようにさせる。また、友人と比較検討することにより、自分の意見を深めさせる。</p>	<p>◇行動観察</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 知・理 </div> <p>日本の降伏のあと、アメリカ軍を中心とする連合国軍が日本を占領し、ポツダム宣言に基づいた日本の民主化を進めたことを理解している。</p> <p>◇発言</p> <p>◇発言</p> <p>◇ワークシートの記述</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 技 </div> <p>写真資料を活用し、戦後間もない日本の社会・経済の様子について、背景や人々の表情などを通して、具体的に読み取ることができる。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>7. ワークシートに記述しながら、自分の意見をまとめる。</p>	<p>○本時の学習内容を板書に沿って確認させる。</p> <p>○次時の学習内容を知らせる。</p>	<p>◇ワークシートの記述</p>